



- 体育会名: 関西学院大学体育会ボクシング部
- 創部年: 1930年(昭和5年)
- 2025 年度会員数: 31人(4年7人、3年8人、2年8人、1年8人)

- 同窓倶楽部名: 関西学院大学体育会部ボクシング部同窓倶楽部
- * 関西学院同窓会 公認団体

- 同窓倶楽部通称: 弦拳会
- 設立年: 1951年(昭和26年)
- 会員数: 498人(男性468人、女性30人)
- * 物故者含む

上ヶ原移転後間もない1930(昭和5)年春、高等商業学部の宮下正己は少数のメンバーに働きかけて学内で拳闘クラブを作った。これを関学ボクシング部創部の年としている。

当時は個人的な選手権試合が主な目標で、団体としては関大の実力が突出しており、リーグ戦開始にはしばらく時間を要した。33年、日本最古の歴史を持つ青学大を招いて関西で初の大学対抗戦を行った。また35年からは立教大との定期戦が始まった。40年には関関戦を僅差で制し、関学はチーム競技としての学生ボクシングのリーダーの地位を次第に確立していった。しかし戦時下、拳闘競技は敵性スポーツと名指しされて時代の波に葬られ、拳闘部も活動を休止した。

終戦後、いち早く再興したボクシング部は45年11月11日、西宮スタジアムで戦後日本初のボクシングの試合を、現役・OBを含む全関学の紅白試合として開催した。47年には初めて開催された関西学生リーグ(第1回はトーナメント)を制し、関西の初代大学チャンピオンに輝いた。60年には中大を倒し、念願の日本一の座を手にした。これは関東を打倒し日本一を関西にもたらした最初でもあった。

69年のリーグ2部転落以降、部員不足に悩む低迷の時代が続くが、「日本一のプライド」と「先手連打の精神」は今に受け継がれ、2010年には関西学生リーグ1部に復帰、「1部定着から優勝へ」を合言葉に、14年に創部85周年を迎えた。2030年には大きな節目となる100周年を迎える。

【文献】『関西学院大学ボクシング部 70年史』2000